



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 1788

エポニックスSHB-SP 低温用

1. 一般名 エポキシ樹脂塗料 超厚膜形
2. 規格 社内規格
3. 特徴
1) 1回塗りで1mm以上のスプレー厚塗りができ(2.5mm/2回塗りが標準)、防食性と付着性にすぐれている。
2) 耐衝撃性及び海水、水、薬品等に対して高度の耐久性を有している。
3) 海洋構造物・栈橋・橋脚・ゲートなどにおいて半恒久的な防食性が期待できる。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	21kgセット(主剤:14kg、硬化剤:7kg)				
色相	グレー、ライトグレー				
光沢	—				
密度(23°C)	塗料	1.32(グレー)			
	揮発分	—			
塗膜有効成分	95%以上				
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C
	指触	6時間	5時間	3時間	2時間
	半硬化	16時間	14時間	10時間	6時間
	標準膜厚	1200~1300μm			
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容					
下地処理	ISO Sa2.5以上又は専用プライマー					
調合法	主剤/硬化剤=2/1(重量比)					
可使時間	5°C	10°C	20°C	30°C		
	60分	50分	30分	20分		
塗料の攪拌	専用攪拌機又は動力攪拌機					
洗浄用シンナー	エポニックスシンナーB					
塗装方法	塗装方法	スプレー塗装		ハケ・ローラー・ヘラ		
	希釈率	原則として希釈しない				
	標準使用量	3.0kg/m ²		0.9kg/m ²		
	標準膜厚	1200~1300μm		500μm		
	ウェット管理膜厚	1300~1400μm		600μm		
塗装間隔	温度	5°C	10°C	20°C	30°C	
	最小	24時間	20時間	16時間	12時間	
	最大	10日	10日	7日	5日	

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- 被塗面のさび、油、湿気、じんあい等の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽す。
- スプレー塗装は専用の塗装機を使用する。ローラー塗装は短毛ローラーを使用する。刷毛塗りの場合はなるべく硬い毛の刷毛を使用する。
- 環境温度が低い場合(15°C以下)、使用時の材料温度を15°C~25°C程度に保持したものを扱い、必要に応じてホース加温等の処置を行うこと。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	指定可燃物
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

ホルムアルデヒド放散等級: F☆☆☆☆

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。